



# 香葉

第19号

通算50号

関東学院女子短期大学

香葉会

発行人 山口佳子

代表 〒236-8503

横浜市金沢区

六浦東1-50-1

直通・FAX 045-787-0678

E-mail: kgckoyokai@gmail.com

URL https://koyokai.shonan.ac.jp

## 香葉会の解散と今後の予定について

昨年、香葉第18号でお知らせしたとおり、香葉会は2022年12月31日を以って解散します。

多くの方に惜しんでいただき様々なお声をいただきましたが、新体制による存続は困難であり、「解散」を決定させていただきました。今後については下記のように予定しております。

### 解散イベント

2022年4月に横浜・関内キャンパスがOPEN予定であったため、その近くでの解散イベントを検討してきましたが、コロナ禍で今後の予測が立たず、申し訳ありませんが「お別れ会」は実施しないこととします。(横浜・関内キャンパス開校は2023年春に変更となりました)

### ホームページについて

香葉会のホームページは、解散後も“有志”として維持し、関東学院に関連した情報の発信や卒業生の活動についてのご紹介は続けることとしました。尚、解散後は情報の発信のみとし会員名簿の維持管理はしません。このため解散後は住所変更のページはなくなります。

問合せのページは残します。みなさんの活動や“今こんなことをしているよ”というご報告等ぜひ情報をお寄せください。卒業生紹介他でご紹介します。

◆香葉会のホームページは関東学院大学人間環境学部卒業生の市川靖洋氏が代表である(株)ボンドのサーバーをお借りしています。ホームページの維持に際し、管理費を一括でお受け取りいただき、市川さんが代表である間は維持していただくことをご了承いただきました◆

### 解散後の卒業生名簿他の取り扱い

解散後は名簿等個人情報を含む文書類の維持管理はしません。ただ、短大がない今、卒業生名簿が保持されているのが香葉会のみのため破棄せず保管させていただくことをご了承ください。尚、在籍確認には使用しますが外部への情報提供は一切しないことをご約束します。

### 香葉とともに

記念冊子「香葉とともに」を現在作製中です。冊子は下記に該当する全ての方にお送りいたします。

#### ●会費・賛助金の納入実績のある方

短大改組後の2003年以後、会費・賛助金の納入実績のある方のうち、現在も「香葉」をお送りしている方

#### ●「香葉とともに」原稿執筆者

会費納入の有無は問いません

#### ●その他ご希望の方

上記に該当しないけれど冊子がほしい方は、香葉19号に同封した納付書で会費・賛助金を1口以上納入ください。(海外在住の方はご相談ください)

納入期限：2022年10月31日

※現在は「香葉」の発送を辞退されていても上記の期間に会費の納入実績がある方は、ご連絡いただければ冊子をお送りします。

※ホームページの香葉バックナンバーでも納入実績はご覧いただけますが、同姓同名の方はみなさんが考える以上に数多くいらっしゃいます。ご自分が送付対象かどうか不明な方・不安な方は、香葉会事務局までお問合せください。

お問合せ・送付希望等は可能な限りメール・FAXでお願いします。(連絡先・送付先を明記ください) 留守電の際は必ず電話番号をお知らせください。

## 会長挨拶

出口 佳子 (国1回)



先の見えないコロナ禍の中ですが、皆様がご過ごしでしょうか？

オリンピック？コロナワクチンの接種？はどのような状況にありますでしょうか？

香葉一八号での香葉会解散予定のお知らせを読んでいたいただきありがとうございます。沢山の解散を惜しむ声と長い間ありがとうございます。たという感謝の言葉をいただきました。解散をしないで継続できる方法はないかということでのお声がけもありませんでした。運営の仕方を変えたらどうか等のお話もいただき、役員一同大変感謝をいたしております。

短大の改組により新入会員の加入は無くなり、約二〇年皆様や先生方からの年会費・賛助金で運営をしてまいりました。皆様からの温かいご協力があったからこそ今まで活動ができた香葉会でした。重ねてお礼を申し上げます。

短大に縁のある先生方も一人また一人と改組後の大学を卒業なさって

いく状況を見ておりますところ。林先生のご逝去という報せを受け更に、辛く寂しい思いしておりますと同時に、「関東学院女子短大」という冠をつけることができるのが香葉会のみということを実感しています。

同窓会は会員最後の一人まで続けていくべきとの考え方も勿論ありますが、短大改組の時から同窓会の在り方を常に考え行動してきた結果として、発展的解消を皆様に認めていただきたいという結論に至りました。短大の持つ輝かしい伝統、温かい師弟関係、いつも心の繋がった環境、そこから巣立った多くの方達が日本のみならず世界に向けて活動しています。その原点が短大にあることをきちんと記録として残すため、冊子「香葉とともに」を作製し記憶しておきたいと考えます。先生方、卒業生、そして前理事長からも原稿が寄せられており、短大での二年間がこんなに充実していたことを改めて教えていただいています。

ホームページに香葉会解散後の気になることについてQ&Aを載せています。今後は、『香葉』一九号・二〇号の発行を残すのみで機関誌の発行は終了しますが、今あるホームページを解散後一〇年を目処に維持していく予定です。卒業生のみさんの活動についてもご紹介を続けたいと思いますので、ぜひ情報をお寄せください。

尽きることのない愛の心を皆様から頂きましたことに感謝し、いつも温かく見守って下さった林先生のご冥福をお祈りいたします。

## 規矩 大義 新理事長、 小山 巖也 新学長の 就任について



規矩新理事長 Hiroyoshi\_KIKU



小山新学長 Yoshinari\_KOYAMA

コロナウィルス感染症への配慮から式典を延期しておりましたので、同時に五名の役職者の就任式を行うことになりました。これほど多くの役職者の就任式を同時に行った例はなく、学院の大きな転換期といえるのではないのでしょうか。

このなかで、香葉会のみなさまに特に関心の深いであろう人事として、理事長、学長の就任についてご報告いたします。

学校法人関東学院寄附行為(学院の最上位規程、企業の定款にあたる)には、理事長の任期について次のような定めがあります。「理事長の任期は四年とし、再任を妨げない。ただし、連続して八年を超えないものとする。」増田日出雄前理事長は財務担当の常務理事在任中、二〇一三年四月一日に理事長に就任し、その後、二〇一七年四月一日に再任されましたので、二〇二二年三月二日で八年の任期が満了となりました。

増田日出雄前理事長は、ある会議において理事長としての八年間を振り返られ、その取り組みとして五点を挙げられています。一点目は、大学の学部改組の実行、二点目は、小田原にあった法学部の横浜への移転、三点目は、横浜の中心部にキャンパスを創ること、四点目は、大学インターナショナル・レジデンスの建設、五点目は、学校法人の財務内容の改善でした。

前理事長の任期満了を控え、理事会では二〇二〇年一〇月から新理事長の選考の準備を進め、同年一月の評議員会への諮問を経て、同日の

二〇二二年四月一日、学校法人関東学院では、規矩大義理事長、小山巖也学長、森田祐二中学校高等学校長、仲程剛のびのびの園長、鈴木直江六浦こども園長の就任式が行われました。六浦こども園長の就任は二〇二〇年四月一日でしたが、新型

理事会において後任の理事長として、増田前理事長とともに上記の成果にも尽力された前学長の規矩大義理工学部教授を選任いたしました。任期は二〇二一年四月一日からの四年間です。就任式では、「学院に連なる七つの学校が「人になれ 奉仕せよ」という共通の理念の下、個性を存分に發揮した教育を通し、人と社会に貢献する新しい時代を担う若者を育てます。約二五、〇〇〇名の園児・児童・生徒・学生が集う横浜の総合学園としての存在感をより一層高めるため

## 林 淳三 先生 ご逝去



関東学院女子短期大学

名誉教授・元学長  
学校法人彰栄学園

元理事長・学園長 短期大学の礎を築かれた林淳三先生が去る六月八日にご逝去されました。享年九八。謹んでお悔やみ申し上げます。

全力を尽くします。関東学院の発展、そこに働く我々が自信と誇りを持つ環境、そして、学院で学ぶ子ども達の未来に対する責任、そうした目標に向かつて、学院長、学長、校長、園長先生と共に、そして全ての教職員と共に力を合わせ、覚悟をもって務めてゆきたい」と抱負を述べられました。

そして、規矩大義前学長の理事長への四月一日付就任決定を受けて、関東学院大学では学長候補者選挙が行われ、小山巖也経営学部教授（前

林先生は昭和四二年家政科専任教授として赴任され、翌四三年十月学長に就任。その後通算十六年間学長職にあり、家政科における栄養士養成の確立、幼児教育科、経営情報科を立ち上げ、キリスト教教育のシンボルとして室の木校地のチャペル建設を最終目標とする、関東学院における女子教育を確立されました。また香葉会の独立と発展に多大な協力をいただきました。

なおご葬儀は先生のご遺志により家族葬で営まれ、六月十九日に京都の菩提寺に奥様のご遺骨とともに納骨されました。林先生本当にありがとうございました。ご冥福をお祈り申し上げます。

\*代表的な著書「関東学院の女子教育」建帛社発行

経営学部長）が次期大学長候補者として選出されました。その後、理事会は大学評議会から推薦された同氏を学長に選任いたしました。任期は二〇二一年四月一日からの四年間です。就任式では、「最先端の知が集まる最高学府として、正門をくぐった瞬間から知的な空気を感じる大学にしていきたい。また、大学の知の社会還元として、社会課題や人々の知的好奇心に応え、社会に新たな視点を与え続けていきたい。」と抱負を述べられています。

さて、大学は二〇二三年四月、関内キャンパスを開設いたします。これに合わせて金沢文庫キャンパスの各学部が金沢八景キャンパスへ移転し、キャンパスの再編が行われる予定となっております。これを機に新理事長、新学長のもと更なる発展を期すこれからの関東学院に、引き続き皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(法人事務局局长 小松原光裕)

## 増田日出雄 前理事長 ありがとうございました

三月に任期満了で退任された増田日出雄前理事長は、香葉会卒業生が理事長室を訪ねると、時間が許す限り対応してくださる気さくな方です。奥様が女子短期大学卒業生でいらしたご縁もあり、いつも親近感をもって接していただきました。

学院の運営にはご苦労も多かった



左から長谷川合同同窓会長、増田前理事長、山口香葉会長

ことと思いますが、精力的にお仕事を進める姿は私たちみんなに大きな力を与えてくださいました。

企業のトップを退かれた後学院の常務理事に就任され、四年後には理事長となり、二期八年(通算十二年)に亘りその重責を全うされました。「もう八十になるよ」とおっしゃりながら、誰よりも速く、数多く歩く関東学院一のウォーキングマンとしても学内では有名です。横浜市推奨のよこはまウォーキングポイントにも参加し、その実績は常に上位にお名前がありました。

三月最後の評議員会終了時に関東学院同窓会と、香葉会有志から退任のお祝いをお贈りしました。今は少しゆっくりしていただき、世の中が落ち着きましたらまたお話を伺いたいと思います。ありがとうございます。



外 観

## 関東学院大学インターナショナル・レジデンスが新設されました

金沢八景駅から国道一六号線を南下すると、左手に金沢八景国際コミュニティプラザが見えてきます。一・二階にドラッグストアやクリ

ニックのあるこの建物の三階から六階の四フロアに、収容人数四〇〇名の関東学院大学インターナショナル・レジデンスが二〇二一年三月に完成しました。金沢八景キャンパスから徒歩二分のこの建物で現在一七六名の寮生が生活しています。

この寮では、様々な地域や国から集う学生たちが多様な価値観に触れ、共に学び合い、暮らしを通して成長していくことを期待されています。そのため、寮生の大部分は二つの洗面台・シャワールーム・トイレを共用する四人ユニット（現在は留学生が入居していないため、三人で生活）で共同生活を送ります。入寮者はまずユニット内のルールを話し合います。シャワールーム等には定期清掃がありますが、毎日の清掃は寮生が行います。気持ちよく生活するため、他者を理解し、自らの考えを伝え、話し合い、形にしなければなりません。ここから寮の生活が始まります。

現在は、寮内で大人数のイベントが開催できない状況ではありますが、ユニット内、ランドリーキッチン利用者間、同じフロアの人たちと、入寮から時間がたつごとに少しずつ交流が広がっています。各ユニットは学部学科や出身地を考慮した構成となっており、気づかないうちに多様な価値観と接しているといえます。

建物一階の寮の入口は、居室の鍵についている電子キーを使用します。入館後、寮生専用のエレベーターで三階に上がり、フロントデスクで

連絡事項の確認をして、自分の部屋へ向かいます。

フロントデスクでは郵便や宅急便の取次ぎ、急病の対応など、寮生の安全・安心のため三六五日二四時間体制で生活のサポートをしています。

三階から六階は共用スペースを中央に、セキュリティエリア内にユニットとランドリーキッチンが中庭を囲むように左右に配置されています。

共用スペースは、居住階にかかわらず、利用することができ、平日の清掃と合わせて、アルコール消毒液を随所に設置し、寮生自身の感染症対策を助けています。

ランドリーキッチンは、洗濯や自炊の際、別のユニットの学生とも交流ができるようになっています。レジデント・アシスタントの活動によ



共用部3階

り、清潔に保たれています。

そして、入館から四回のセキュリティチェックを経て、ユニット内の居室に入ります。居室にはエアコンや家具がそろっているので、コストを抑えて学生生活をスタートできます。

新型コロナウイルス感染症によって、一人暮らしの大学生は、孤独と向き合うことになりました。外出制限が出て寮生同士、対面のコミュニケーションがとれるなど、学生寮の価値が再認識されています。大学に近いため、学内の施設を有効に活用できます。年間を通じて入寮募集を行なっていますので、短期入寮（一か月単位）を希望する在学生も大歓迎です。

構想時は、寮内のイベント、外部の方との交流を活発に行う予定とし



居 室



中庭から共用部



共用部6階

ていましたが、大学のガイドラインに則って新型コロナウイルス感染症

## 短大の卒業・成績等の証明書が必要なとき

関東学院女子短期大学は2002年に関東学院大学に改組されており、短大卒業生の卒業証明書や成績証明書等は、現在も大学窓口で発行していただけます。必要な情報は大学のウェブサイトで「卒業生の方」向けのページに記載されています。

<https://univ.kanto-gakuin.ac.jp/alumni.html>

- 1) 証明書の発行と各種手続き (卒業生)
- 2) 「発行する証明書 (申込用紙)」の箇所を“関東学院女子短期大学をご卒業の方の諸証明書申込書はこちら”
- 3) 「申込窓口、郵送先のご案内」の箇所を“女子短期大学の卒業生の方”をそれぞれご覧ください。

対策を行い、ルールに従い、互いを尊重し、共同生活を送ることを最優先しています。  
 今後、学生の安全を第一に、運営を進めてまいりますので、ご支援のほど、お願い申し上げます。  
 お問い合わせ先…  
 関東学院大学 学生生活課  
 関東学院大学公式ホームページ  
<https://univ.kanto-gakuin.ac.jp/residence/>  
 レジデンス

## 香葉会室から見た 大学のコロナ対策

未だコロナ終息の二文字は遠く、世界各地で猛威を振るう中、関東学院大学でもさまざまな対応がされています。

昨年は卒業式、入学式が中止され、春学期はオンライン授業が中心となり、課外活動も出来ず学生たちは大学へ来ることもできない日々でした。大学からは、比較的早い段階でホームページ等を活用して学生に向けた様々な情報発信がなされ、慣れない中、先生たちのオンライン授業への準備は粛々と進められていたようです。

大学には学生のための「KGUポータル」というサイトもあり、私たちが見ることは出来ませんが、学内の最新情報はここから得ることが出来るしくみになっています。

オンライン授業のためのパソコンやタブレットの貸与、緊急奨学金や学費延納などの経済的支援、そして長期履修制度といった学修支援等様々な支援体制も整備されていきました。これは休学や退学の道を選ばなくてはならない学生を一人でも少なくしたいという大学の気持ちで表れたものと感じました。

秋学期が始まる前の九月中旬には二〇二〇年度入学式が、八景キャンパスのペンネットホールに於いて、三日間で九回に分ける形で執り行われました。対象学部を分け、新型コ

ロナウイルス感染症対策を十分に行った上での開催で、式典は映像でも配信され、保護者の方々、関係者の皆さんへも規矩学長(当時)の言葉が届けられたとのことでした。

この九月の入学式は新入生からの式典開催を望む熱い思いを形にしたと聞いています。やっと同級生と直接会うことの出来る貴重な機会だったのでないでしょうか。

その後大学での対面授業も徐々に増えたようですが、校内への入口は一箇所となり、サーマルカメラも設置され、学生証を提示して入る形は二〇二一年度に入っても続いています。

今の学生たちの置かれた立場にはとても心が痛みますが、困難を乗り越え、苦しさを力に変えて希望を持って前に進んで欲しいと願うばかりです。学内の先生たちをはじめ職員、購買部や食堂で働くみなさん、警備やお掃除をしてくださる方、そのほか多くの大学に携わる関係者全員で支える学生生活を、卒業生として陰ながら応援して行きたいと思えます。

最後になりましたが、一日も早く穏やかな日常の戻ることを願ってやみません。読んでくださったみなさまとそのすべての関係する方々のご健康をお祈りいたします。



## 皆さんのお力を!!

学院の募金活動をご紹介します。

《新型コロナウイルス感染症対策募金》大学が募集した「新型コロナウイルス緊急学生奨学金」には二〇二〇年十一月三〇日時点で四二四件四七、三一九、五〇〇円が集まったそうです。(大学ホームページより)。また、現在も「新型コロナウイルス感染症対策募金」として、募集は続いています。詳細は学校法人関東学院又は関東学院大学のホームページ

## ■卒業生編入学者選抜

関東学院女子短期大学卒業生のための「KGU・KGC卒業生編入学者選抜(旧名称:関東学院オリブ編入学者選抜)」を実施します。～入学金及び年間授業料半額免除で「学び直し」「再チャレンジ」を応援～

関東学院大学では女子短期大学時代に学んだ専門領域を深めたい、新しい知識を得たいといった卒業生を応援するため、KGU・KGC卒業生編入学者選抜を実施します。

人生100年の時代…活躍し続けるためのプラットフォームを是非ご活用ください。

事前相談をお待ちしています。

### ●募集学部

国際文化学部(英語文化学科/比較文化学科)、社会学部(現代社会学科)、経済学部(経済学科)、経営学部(経営学科)、法学部(法学科/地域創生学科)、理工学部(全8コース)、建築・環境学部(建築・環境学科)、人間共生学部(コミュニケーション学科/共生デザイン学科)

### ●募集人数:若干名

### ●募集年次:2年次/3年次(編入学年次については事前にご相談ください)

### ●出願資格:下記のすべてに該当する者

関東学院女子短期大学、関東学院大学(含大学院)を卒業した者 本学を専願とする者

### ●試験科目:小論文、面接

### ●選考の流れ:事前相談→出願(11/1~11/8必着)→試験12/12→合格発表12/21→入学手続(12/21~1/14)

★入学金(29万円)及び、年間授業料の半額を免除します。

※年間授業料の免除は標準修業年限に該当する期間を最長とする。

## ■卒業生の子女・孫のための「オリブ入学者選抜」

関東学院大学はその建学の精神を伝え、守っていくことを大切なことと捉え、女子短期大学・大学・大学院の卒業生の子女・孫にあたる人を対象とした入学者選抜を実施しています。

卒業生だからこそ分かる関東学院での学生生活を、子供や孫に伝えていきませんか!出願期間は9月8日(水)から14日(火)必着、選抜方法は、書類審査、小論文、面接で、試験日は10月10日(日)です。また、入学金(29万円)が免除されます。

### ●お問い合わせ

関東学院大学 アドミッションズセンター

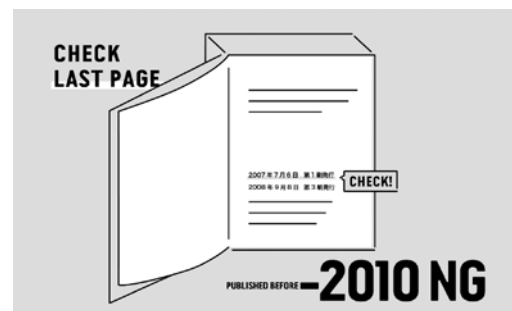
TEL:045-786-7019

の「ご支援のお願い」のページからご覧いただけます。クレジットカードでの決済やコンビニ支払いも可能です。香葉会からもみなさんへご協力をお願い致します。

《ふるさと関東学院募金》関東学院各校の教育奨励を目的として、応援したい学校を指定して寄付することができます。寄付をすると学院各校の卒業生が経営するお店や会社で製造・販売している商品を返礼品として受け取ることができます。お申し込みは個人の方が対象です。また、お礼の品を提供していただける卒業生も随時募集されています。

《関東学院古本募金》お手元にある読み終わった本を有効活用するもので、株式会社バリューブックスによる「チャリボン」という取り組みを使う募金活動です。寄付により集まった本を、バリューブックスが買い取り、そのお金が学院へ還元される仕組みです。但し条件がありますので事前によくご確認をお願いいたします。

募金についての詳細は関東学院のホームページ、または企画部募金・校友課(〇四五-七八六-二六八五)へお問い合わせください。



1. 本にバーコード (ISBN) がある。
2. 2010年より以前に出版された本は寄付対象外。(一部、査定で値段が付いたものを除く)

学校法人関東学院 <https://www.kanto-gakuin.ac.jp/>

## 二〇二〇年度香葉賞

コロナ禍での卒業式が二度目となり、香葉賞も昨年同様直接授与することはできませんでしたが、今回は会長挨拶を事前収録し、学科毎に行われた各賞授賞式で映像を配信していたことができました。写真は収録中の山口会長と配信を提案してくださった人間共生学部共生デザイン学科の佐野教授。

香葉賞は本年も人間共生学部コミュニケーション学科・共生デザイン学科、栄養学部管理栄養学科、教育学部子ども発達学科から推薦された四名に記念品とともに賞状を贈りました。



収録中の様子

## 燦葉会支部関連

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、六月時点で燦葉会の西湘小田原・湘南・県央各支部の総会情報はありません。情報があるときは燦葉会のホームページでお知らせいたします。

## 二〇二三年、横浜・関内 キャンパスを開設

横浜の行政と商業の中心地関内に「社会連携教育」の拠点となる新キャンパスを開設し、法学部（法学科、地域創生学科）、経営学部、人間共生学部（コミュニケーション学科）が新キャンパスで学びます。

また、社会とつながるキャンパスとして夜まで稼働するキャンパスは、学生だけでなく、企業・自治体・市民などに開かれた教育プログラムを設置し、イノベーション拠点を目指します。



関内キャンパス鳥瞰図

## 「関東学院女子短期大学 記念奨学金」 2020年度報告

関東学院女子短期大学にて利用されていた奨学金を原資とする、関東学院女子短期大学記念奨学金の2020年度の利用状況について大学から報告をいただきました。

第1種(家計急変)	4名	2,874,440円
第2種(留学生)	1名	790,000円
第3種(学業優秀)	3名	300,000円
合計		3,964,440円

また、2019年度については15名に対して6,419,500円の給付を行ないましたが、利息等の他、短大奨学金の返還が続いているため、2020年度の収支は3,527,155円ほどの支出となりました。

2020年度も女子短期大学の流れを汲む人間環境学部、人間共生学部、栄養学部及び教育学部の4学部合同で奨学金を運用させていただきますことをご報告いたします。

## 金沢八景駅 リニューアル

### リニューアル

大学八景キャンパスへの最寄り駅、京浜急行と横浜シーサイドラインの金沢八景駅が二〇一九年三月に直結し新駅舎（京浜急行の改札口は三階）へと変わり、両線の乗り換えが格段に楽になりました。その後も

駅の改良工事が行われていましたが、本年六月には旧駅舎の地上改札口（一階部分）を閉鎖し、橋上駅舎改札内とホームを結ぶエレベータの使用が開始されました。また、横浜シーサイドラインも当初駅構内のみ単線運用されていましたが、本年二月複線化工事が完了し、乗降が一層スムーズになっていくようです。京浜急行の改札口に直結して建てられたビルには京急ストアや眼科、

花屋、和菓子店、コンビニ、カフェ、レストランなどが入り、駅前広場はバスターミナルが整備され、関東学院循環のバス乗り場も駅から一番近くにあります。このバスターミナル周辺にはドラッグストアと銀行も新設されました。

学生時代のアノ郷愁を誘う懐かしさはすっかり様変わりしました。世の中が安全が確保されました。ぜひ大学と金沢八景駅を訪れてみてください。



シーサイドライン金沢八景駅



京急駅ビル

計報



故 星賢二先生(生活文化)



故 三浦高二朗さん(就職課)



故 帆苺猛先生(宗教主事)



故 田中順子さん(寮母)

ルツ寮の寮母さんとして慕われた田中順子さん... 元共通科目教授で宗教主事も務められた帆苺猛先生が二〇二〇年八月にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

また就職課で手腕を揮われた三浦高二朗さんも、本年が七回忌になることを奥様からご連絡いただき、陶芸の講師でいらした星賢二先生も昨年お亡くなりになりました。計報はいつも辛いものですが、短大で活躍された日々を思い出してお慰めたいと思います。香葉会にお寄せください。

香葉会のメールアドレス変更について

2021年9月1日よりEメールアドレスを変更します。以後、香葉会から発信するメールのアドレスは新しいものになります。現在使用しているNiftyのアドレスは当面の間受信のみ可能としますが、一定期間経過後解約をしますのでご注意ください。

新アドレス: kgckoyokai@gmail.com

尚、今回の変更はフリーメールへの切り替えを早めにする事により、解散後の連絡手段を残しておくためのものです。ホームページからのお問合せについても同アドレスを活用します。

編集後記

昨年はみなさんとお会いする機会が少なく、イベントも出来なかつたため香葉の記事もいつもとは違ったものになりました。香葉は来年の二〇号がラストとなります。関東学院に関係するみなさんに「香葉会」を覚えていただければ、最後まで役員一同がんばります。応援してください。みなさまに感謝の想いをこめ

(T)

香葉会 年会費・賛助金 納入者名簿

皆様のご厚意により、令和2年度(令和2年4月1日~令和3年3月31日)の年会費・賛助金は690,000円となりました。香葉会の運営費の一部として有効に使わせて頂きます。皆様のご協力に感謝します。今年も納付書を同封しておりますが、「香葉とともに」ご希望の方は1頁の案内をご確認ください。(敬称略・順不同)

Table listing members and their contributions, including names like 小玉希望, 松野敦子, 石渡久子, etc.

関東学院女子短期大学 香葉会

Financial statement table with columns: 収入の部, 支出の部, 2020年度決算, 2021年度予算. Total income: 4,168,592; Total expense: 4,909,225.

平成十五年三月の卒業生の会費を最後に、香葉会の会計は皆様の年会費・賛助金をたよりに頑張ってきました。今期の予算に計上した寄付金は全額「関東学院大学 横浜・関内キャンパス開設資金」に寄付をします。原資は積立金からの繰入金です。キャンパスの銘板に「香葉会」の名前が残りますので完成後に見られることを楽しみにしたいと思います。